



天候にも恵まれて、去年のてんさいは大豊作。  
アミスターは、根腐病もだけど葉腐病にもいいね。

清水町 村瀬 博明さん(41歳)

お母様と妹さんのほか、農繁期には5、6人のパートタイマーが村瀬農場を加勢。手がける作物はビート、ばれいしょ、豆類、小麦、ほうれんそう、南瓜。総作付面積25ha



## 根腐病対策はまず輪作の遵守そしてアミスター。

昨年、村瀬農場では、てんさいの収量が過去最高の8トン近くを記録した。例年では5.5トンほどだということから、大豊作とっていい。雨が少なかったものの、春から夏にかけて気温の高い年で、天候に恵まれた。

「それとやっぱり、堆肥だろうね。堆肥のやり方は農家によって千差万別だけど、うちでは、てんさいはずっと鶏糞のみで育ててるんですよ」

04年は病害も害虫もほとんど見かけなかったという。「気温が24、25度くらいになると病害が出やすいといわれているけど、去年はなにしろ、33度くらいまで上がった暑い夏でしたからね。あんまり暑いと、病原菌も害虫もへたっちゃんのかな?(笑)」

とはいうものの、例年、やはり根腐病と葉腐病には神経を使う。対策としてはまず第一に、できる限り輪作を守る。そして第二がアミスターの散布だ。「うちでは6月半ば過ぎに根際散布を行っているんですが、アミスターは浸透移行性が高く、きっちりと効いてくれますね。」村瀬さんがアミスターを使いはじめたのは7年ほど前。日本での発売とほぼ同時期だ。「もうずっとアミスターを使っていますが、これは非常にいい剤だと、僕は思っていますね」



すっしりと育ったてんさい畑

## 農業はまだまだ新しい可能性を秘めている。

現在、村瀬農場で手がけている作物は、てんさい、小麦などを中心に6種類。いま村瀬さんは、小麦の前作として『第7の作物』を検討中だという。「秋播き小麦のは種前に収穫できる作物を考案中なんです。輪作体系を守っていくためにも、もう1種類、増やしたいですね」

ところで2年ほど前、村瀬農場の名は全国に知られることになった。ばれいしょの「雪中保存」に成功し、新聞やテレビで紹介されたのである。雪の中でうまみを増したばれいしょは話題を呼び、全国から注文が相次いだ。「お客さまの『おいしかった』というひとことが、本当にうれしかった」と村瀬さん。消費者とのダイレクトなつながりに魅力を感じた村瀬さんは、近い将来、ホームページによるネット販売をはじめたいと考えている。「農業って、まだまだいろんな可能性を秘めていると思うんですよ」そう語る村瀬さんの目は、農業の未来を見つめているに違いない。「気温が24、25度くらいになると病害が出やすいといわれているけど、去年はなにしろ、33度くらいまで上がった暑い夏でしたからね。あんまり暑いと、病原菌も害虫もへたっちゃんのかな?(笑)」とはいうものの、例年、やはり根腐病と葉腐病には神経を使う。対策としてはまず第一に、できる限り輪作を守る。そして第二がアミスターの散布だ。「うちでは6月半ば過ぎに根際散布を行っているんですが、アミスターは浸透移行性が高く、きっちりと効いてくれますね。」村瀬さんがアミスターを使いはじめたのは7年ほど前。日本での発売とほぼ同時期だ。「もうずっとアミスターを使っていますが、これは非常にいい剤だと、僕は思っていますね」



 **アミスター®10**  
フロアブル

syngenta.

シンジェンタ ジャパン株式会社

〒104-6021 東京都中央区晴海1-8-10 オフィスタワー-X 21階  
<http://www.syngenta.co.jp>

農業をご使用の際は、ご購入先、または当社ウェブサイトなどで最新の登録内容をご確認ください。

®はシンジェンタ社の登録商標 TMはシンジェンタ社の商標

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●薬剤は小児の手の届く所には置かないでください。●使用後の空容器、空袋等は農場などに放置せず適切に処理してください。

※2005年5月20日現在の情報です。